



第 1822 回例会

平成 27 年 3 月 9 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4 F

会員卓話 花田 宗弘 君

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 48 名 出席者数 30 名
出席率 62.50 % 前回修正出席率 68.75 %

4. 会長スピーチ



会長 山東 剛一 君
みなさん、こんにちは。毎日寒暖の差がはげしく一日のうちでも昼間と夜間の温度差がかなりあり、朝外出時の服装に迷うことがしばしばですね。

さて、先週、先々週と二週にわたって宇恵四十周年実行委員長からすばらしいお話を頂き、私も感動しました。個人的な話になりますが、この第五話をコピーし、うちのスタッフ全員に配り、読ませて研修に使わせて頂きました。私自身もこんな仕事をしてきた関係で感じるところが大で久しぶりの感動を味わいました。それで明日の理事会で理事のみなさんのご了解を得てからの話になるのですが、幹事とも相談して是非記念事業部会の桑添委員長に記念事業としてお願いしたい旨、お伝えしたいと思います。あらためて四十周年記念委員会の宇恵委員長、いいお話しをありがとうございます。

土曜日に地区の会長会議に出席しました。会議の内容については谷脇ガバナー補佐にお話しして頂きます。

本日の会員卓話は、花田さんです。ご清聴下さい。ありがとうございます。

3月は識字率向上月間です
(Literacy Month)

四つのテスト 言葉はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

2014-2015年

海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山西 R C 3月 25 日 (水) → 3月 26 日 (木)
18:00~割烹「華新」

○休会のお知らせ

有田 R C	3月 10 日 (火)
高野山 R C	3月 13 日 (金)
岩出 R C	3月 19 日 (木)

6. 会長会議の報告 ガバナー補佐 谷脇 良樹 君



はじめに、山東会長が地区の会長会議の会場がわからず、迷子になりました。会議では、地区大会の決算、次年度のガバナーに対する意見等が話し合われました。

7. 会員卓話

花田 宗弘 君

今日の卓話は昨年 11 月より始めていますヨットによるクルージングの話をさせて頂きます。長年ヨットを愛好している者にとっては、いつか自分のヨットで日本一周なり、海外まで出かけたいと云う夢を持っています。しかし、仕事や家族、仲間、地域社会のしがらみの中で中々実行できません、私もずるずると年を取り、80 歳まであと 2 年と残りが少なくなってしまいました。

欧米人の場合は定年後、家を売ってヨットを買い奥さんと 2 人で世界一周の旅に出るとか、若い間でも子供連れで何年もクルージングしているヨットをよく見かけます。日本の場合、奥さんは風呂もなく電気も水も十分に使えない狭い揺れる船には中々乗ってくれませんし、子供を連れてなどとは学校はどうするのと一笑されてしまいます。

今回、幸いにも娘が同行したいと言い出したので、最後のチャンスと周りには色々不義理はありますがないと思って実行することにしました。どこまで行ける



花田さんの娘さん



事務所 ☎ 642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山東 剛一 幹事：中西 秀文 SAA：山田 裕之

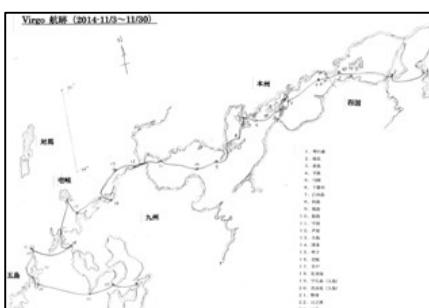
か分かりませんが、2～3年計画で台湾経由してフィリピンまで行きたいと思っています。ロータリーのお陰でこの地区は空から何度か訪れていて、土地勘もあり友達も沢山います。

とりあえず、昨年11月初めに出航し鳴門経由瀬戸内海の島々を巡り、関門海峡を抜けて五島列島、平戸、佐世保をめぐって熊本の天草まで、1月かけて23の島々と港を回ってきました。

12月になり冬将軍がやってきたのでここにヨットを預けて一旦帰宅、今年の4月に再開して南に下る予定をしています。

各地を海から訪問すると陸からでは見えない景色、人情が見えてきます。元気な島もありますが、大半は若者が島を離れ高齢化が進み、学校と港だけは立派なのが残っていますが過疎化が進んでいます。一方都会の生活に見切りをつけ、自給自足の様な生活にあこがれて不便な小島に移り住む若者も現れてきています。

一部映像で紹介したいと思います。



しまなみ海道



軍艦島



五島列島 若松瀬戸



平戸 停泊桟橋

8. 閉会点鐘



ニコニコ・BOX

山東 剛一 君 土曜日に地区の会長会議に出席しました。
谷脇 良樹 君 地区会長会の報告を致しました。
花田 宗弘 君 本日は、卓話させて頂きます。

次回例会

第1823回例会 平成27年3月16日(月)

12:30～ 海南商工会議所4階

会員卓話 山畑 弥生 君、重光 孝義 君



サンフランシスコの新しいクラブ

サンフランシスコ・イブニング・ロータリークラブは、月3回のメンバーでのクラブ会合と、月1回の交流行事に加えて、



フェイスブックを使ったクラブのプロモーションにも力を入れています。サンフランシスコ地域で初めて夕方の会合を始めたこのクラブには、シリコンバレーに勤める技術系の若い会員がたくさんいます。朝方やお昼の時間を割くことが難しい人も簡単に出席できるので、2013年のクラブ創設以来、会員数は30%も増加しています。

会員のほぼ半数が海外出身者であるため、クラブはまず、ともに米国に暮らす市民としての忠誠を誓つてから会合を始めるようにしています。会費の支払い方法については、オンラインでの自動振込みを利用する会員がいれば、クラブのクレジットカード読み取り機でその都度支払いを行う人もいます。月の最終週は交流行事を行い、これまでにバレエ鑑賞、カラオケ大会、ミニゴルフコンペ、プロを招いたゴルフレッスンなどさまざまなイベントを実施しました。

例会の半分に出席することが義務はあるものの、冠婚葬祭や仕事で忙しいときは出席を強要しないようにしています。また、会合場所に来ることが難しいクラブ役員は、スカイプなどのオンラインツールを利用してクラブ理事会に出席しています。

創立会長で公認看護師のダニエレさんは、奉仕プロジェクトの重要性にも注目します。若い人は「汗水流してボランティアをする」ことに関心があるからです。彼女自身、クラブ創設以前に、ガーナでの駆虫プロジェクトやポリオ撲滅活動、インドでの口蓋裂手術プロジェクト、ザンビアでのマラリア予防プロジェクトなど、さまざまな活動に参加してきました。

このほか5つのクラブと非営利組織『Hug It Forward』と協力し、グアテマラの学校修復プロジェクトを実施。昨年には、初めてロータリーの地区補助金を受領し、サンフランシスコの学生を対象としたコンピューター・プログラミングの研修を行いました。また、地元の遊歩道整備プロジェクトや、インターネットとの合同による『Habitat for Humanity』の家屋設置プロジェクトにも参加しています。夕方に集まるクラブの成功がきっかけとなり、現在、サンフランシスコにはもう一つの夕方クラブ(Rafael Evening)があり、さらに2つのクラブ(Mid-Peninsula Evening、San Francisco SOMA)が正式に創立される予定です。

「最高のスタートを切られました」とダニエレさん。「私たちのクラブの取り組みは、どこでも可能だと思います」